



遠賀川河口堰は河口から2kmの地点に、約5年の歳月をかけて昭和55年に完成した可動堰です。堰の長さ517m(自動車 約130台分)、貯水量1,114万m³(福岡ドーム 約6杯分)です。

河口堰の目的

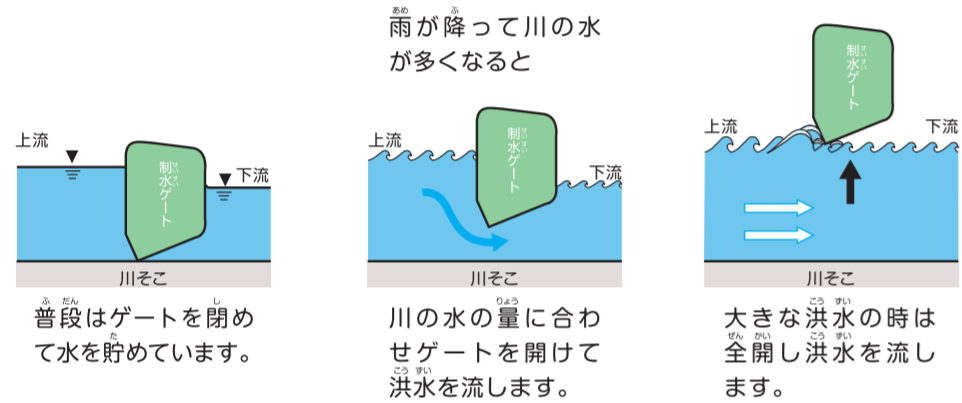
遠賀川の昭和28年6月の大洪水は、周辺に甚大な被害をもたらしました。昭和42年、43年と続いた異常濁水により川の水が取水出来ず水不足になりました。このため、**洪水**を安全に流すため、**生活用水**を確保するため、**塩害**を防ぐため、**3つの目的**から、遠賀川河口堰が建設されました。

治水：洪水を安全に流します。

■大雨が降ったら河口堰のゲートをあけて洪水を海に流します。

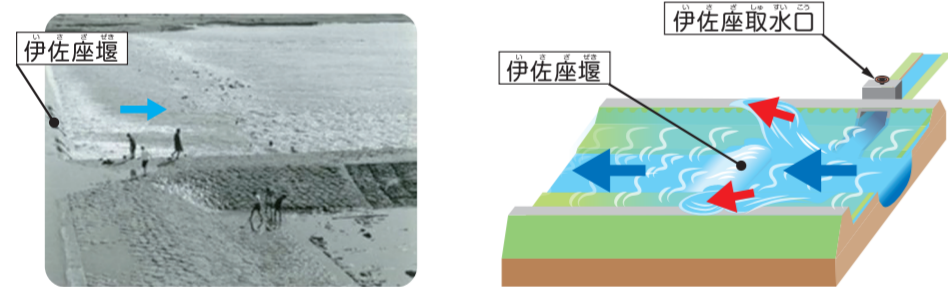


ゲートが開いていると回転灯が回っています。



■固定堰(伊佐座堰)を撤去して洪水を流れやすくしました。

河口堰ができる前は、河口堰から6km上流に、取水のための伊佐座堰という固定堰(動かない堰)がありました。

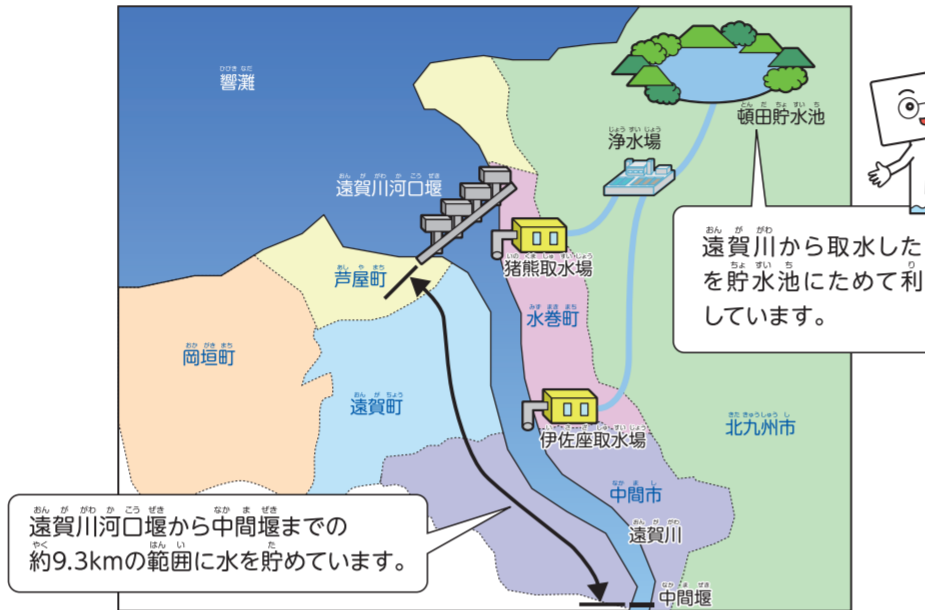


伊佐座堰 (昭和50年撮影)

洪水の時、伊佐座堰で川の水があふれる恐れがありました。今は伊佐座堰を撤去したので、安全に洪水を流せます。

利水：生活用水を確保します。

遠賀川河口堰でためた水は、北九州市、中間市、芦屋町、遠賀町、水巻町、岡垣町に住む方たちの水道用水として使われています。北九州市工業用水にもなっています。



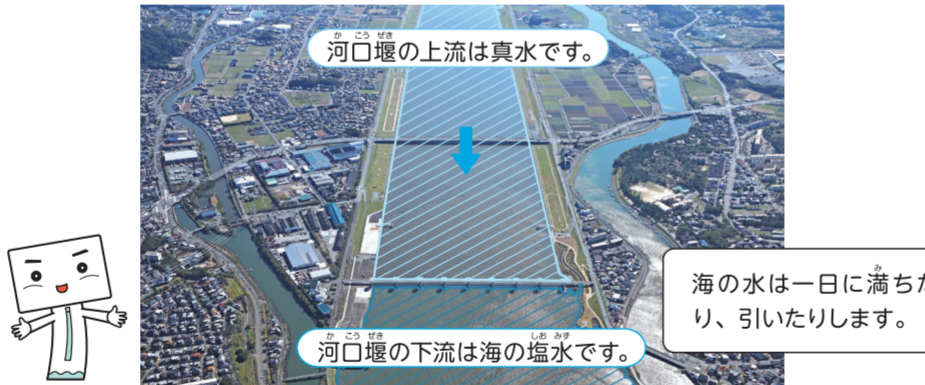
遠賀川河口堰から中間堰までの約9.3kmの範囲に水を貯めています。

遠賀川河口堰	猪熊取水口	常時満水位 1.5m	伊佐座取水口	中間堰
有効貯水容量 8,840,000m³				
貯水量 2,300,000m³				
最大限に貯水できる容量	総貯水容量	11,140,000m³		
水道・工業用水	有効貯水容量	8,840,000m³		

河口堰に貯めた水は、1世帯4人の家族で使用したとすると1,148万世帯分にもなります。

塩害防止：貯水池に海の水が入るのを防ぎます。

貯水池に海水が入ると、水道、農業、工業などの用水に使えなくなります。遠賀川河口堰では、水門を開けて海水が入らないようにしています。



河口堰の上流は真水です。

海の水は一日に満ちたり、引いたりします。

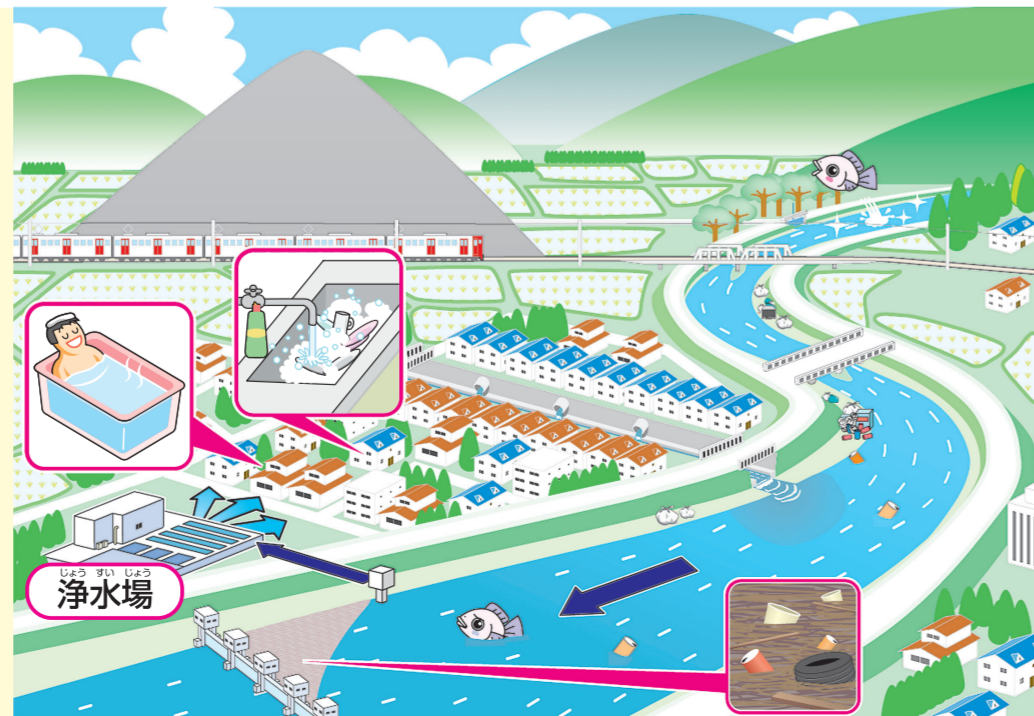
河口堰の下流は海の水です。

Attention

遠賀川の水を大切に

川の上流で、水を取ります。
お風呂や茶碗を洗い使うと汚れた水を流します。
汚れた水は、川に戻ってきます。
その川の水を誰かがまた使います。
汚れた水は浄水場で汚れを取り、皆さんの家まで届きます。
水の汚れがひどいと消毒したりにおいをとったりして、やっと飲める水になります。
ジュースの残りや食べかすなどを流さないことなど、ちょっとしたことが川の水を汚さないことにつながります。

Ongagawa kakouzeki



遠賀川河口堰周辺案内

自転車道
※破線区間は、一般道などを利用

夏井ヶ浜のはまゆう自生地
「はまゆう」が約1,000本自生しています。

立屋敷遺跡
弥生時代(2200~1800年前)の集落跡が見つかりました。

遠賀川河口堰資料室
遠賀川河口堰の働きや仕組みなどを学べる施設です。資料室内は、遠賀川に棲む魚たちを観察できるミニ水族館コーナーもあります。施設見学・環境学習に興味のある方は右記までお問合せください。
営業時間/9:00~16:30
料 金/無料
休 館 日/土・日曜・祝祭日
駐 車 場/有り(無料)

遠賀川水源ポンプ室
世界遺産「明治日本の産業遺産」の一つで、官営八幡製鉄所の送水施設です。現在も稼働しています。

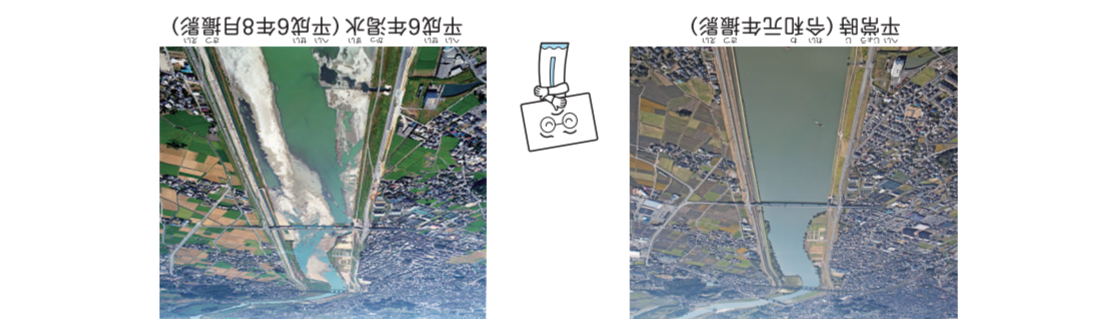
遠賀川河口堰事務所 河口堰管理支所
〒807-0001 遠賀郡水巻町猪熊10-7-1
TEL 093-201-1675 (代)

★堰カードをもらおう★
令和4年4月に遠賀川河口堰カードができました。河口堰を訪問した方に記念にお渡ししています。

ゆたかな水のめぐみと
安心できるふるさとに 願いをこめて

遠賀川河口堰

Ongagawa kakouzeki



平成6年	流域内11市町村で断続水、河口堰の貯水率も44.9%の過去最低を記録
昭和53年	北九州市 延べ173日の給水制限
昭和43年	北九州市 延べ2ヶ月の給水制限
昭和42年	熊本市 6時間給水制限、田川市 市内家数1,810戸のうち1,200戸が水不足で悩む

治水被害状況
●水が集まる面積：1,026km² (赤で囲まれた範囲)
●流城市町村数：7市14町1村
●川の長さ：61km
●住んでいる人の数：約62万人

利水の課題点

遠賀川周辺は、人口が多いことから、遠賀川の水が盛んに使われています。22市町村のうち15市町村が水運に使っています。雨あふらすペースが日増しに厳しく、川の水が干上がり、水が供給が足りなくなっています。

治水の課題点

遠賀川は、川から近いところから町や住宅地が広がっているため、洪水が起ると、人命や家が奪われる被害になります。昭和28年6月の洪水では、堤防が決壊し、これまでに最大大きな被害となりました。

●昭和28年6月洪水(死者20人、負傷者211人、家屋流出・全半壊953戸、浸水家数38,791戸)
●平成30年7月洪水(床上浸水466戸、床下浸水：369戸)
●(遠賀川河口から14km地点左岸側) 東方市榎木付近
●(遠賀川河口から約2km地点) 流中決壊の避難 鉄道にも被害が及びました

九州の人口密度(6000人/km²)は、九州の人口密度(6000人/km²)の中で一番です。多くの人の暮らしと遠賀川は密接に関係しています。

遠賀川河口堰は、遠賀川の河口から上流約2kmにあり、遠賀川を大切にしたい。遠賀川を大切にしたい。

河口堰のある遠賀川ってどんな川？

遠賀川河口堰によるこそ 河口堰はこんなところです。

大きなゲートで川の水をせき止めて、水道用水などに使われる水を貯めています。



長さ: 517m
 総貯水容量: 1,114万m³
 湛水面積: 2.94km²
 型式: 可動堰
 ゲート: 制水ゲート×7門
 調節ゲート×1門
 微調節ゲート×1門
 魚道ゲート×1門
 本体着工: 昭和50年(1975年)
 完成年: 昭和55年(1980年)

洪水などで水の量が増えた時には、大きなゲート(制水ゲート)7門を上にあげ、洪水を安全に海に流します。

1 制水ゲート

ゲート1門の重さは約250tです。ゲートの両端を、ワイヤーで吊ってゲートを上下します。写真、右下の人と比べると、その大きさがわかります。

2 ゲート機械室

ゲート機械室には、大きな鉄のゲートを引き上げるため、電気で動く巻き上げ機(直径2.5m)や、非常用エンジンなどがあります。

3 河口堰操作室

操作室で、ゲートを遠隔操作しています。監視モニターでは、堰周辺で危険が無いか確認します。

4 水位計

河口堰の上下流に2箇所づつあり、上流の水位と下流の水位を確認し、堰の操作を行います。

5 網場

ゴミと格闘するこすもす号
 こすもす号: 網場や堰に流れ着いたゴミを集めて回収する船です。小さな船ですが、長いオイルフェンスを使って大量のゴミを集めて回っています。

河口堰のゲートまで流れ着くゴミを減らすため、ゴミを途中で捕獲するための施設です。捕獲したゴミはこすもす号が回収しています。

1 ためた水をきれいに保つために

晴れた日が続くと、貯水池の水が緑色になることがあります。これはアオコと呼ばれる植物プランクトンです。このアオコが異常発生すると、水道水がカビ臭くなる原因となるため、水質浄化施設(マイクロバブル)を設置しています。

小さな気泡を水中に送りこみ、水の中の酸素を多くして水質改善をしています。

水をきれいにする自然の力を利用して

自然の川の瀬にある石の表面にはヌルヌルした薄い膜が付いています。この膜はバクテリアやカビ、藻などの微生物が集まっています。微生物は、水のなかに酸素があると活発に働き、水の汚れ(有機物)を食べ、無害な水と炭酸ガスに分解します。河口堰の水質浄化施設では、酸素を水の中を送ることで微生物の活動を活発にして水を浄化しています。

水中微生物の浄化

酸素が豊富にあるとき

酸素が少ないとき

自然の川の瀬の働き

瀬では、波立ちや落差等により空気が水に混ざり、酸素が豊富です。空気が混ざります。

魚道は生き物が行き来する川の道です。

階段式魚道や多自然魚道には、海の水と川の水の混じったところ【汽水域】で暮らす魚などの生き物がみられます。魚は、魚道を使って海と川を自由に行き来しています。

多自然魚道ってどんなところ?

多自然魚道は、「生き物と人をつなぐ ゆるやかな水辺空間の再生」をコンセプトに、平成20年より住民の方々との意見を交わしながら設計をはじめ、平成25年に完成しました。自然の小川のように砂や石でできており、泳ぐ力が弱い小さな魚や川底を移動する生き物が生活したり、隠れたりすることができるようになっています。

2008 整備前

2014 整備後

魚の子供たちが群れをなして多自然魚道が上がっています。

多自然魚道で見つけたツチフキ(上)とヒナハセ(下)

環境学習での生き物調査の様子

魚の種類が増え訪れる鳥も増えてバードウォッチングも盛んになりました

多自然魚道が完成後、周辺は芦屋町が管理する魚道公園として活用されています。

洪水の後、遠賀川から大量のゴミが流れ着きます。

遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に、遠賀川流域のゴミ(塵芥)が大量に流れ着きます。

このゴミを放置すると
 ●ゲート操作の支障 ●河川環境への影響(水質の悪化、悪臭、魚類の減少)
 ●海岸への流出の恐れ(船舶等の航行の支障)となるため、回収を行っています。

集められたゴミは、手作業で9種類に分別しています。毎年、約3000m³ものゴミを回収しています。

なぜ、ゴミが流れ着くのでしょうか?

大雨が降ると川の景色は一変します。川の水位が上がり、河川敷に捨てられていたゴミは下流へ流されます。側溝にポイ捨てされたゴミも雨が降ると流され、水路、川へと流れて行き、最後はほう大量となって河口へ集まります。

河口堰に貯められた水は飲み水に使われます。川は海につながっています。ゴミを捨てるのはやめましょう。